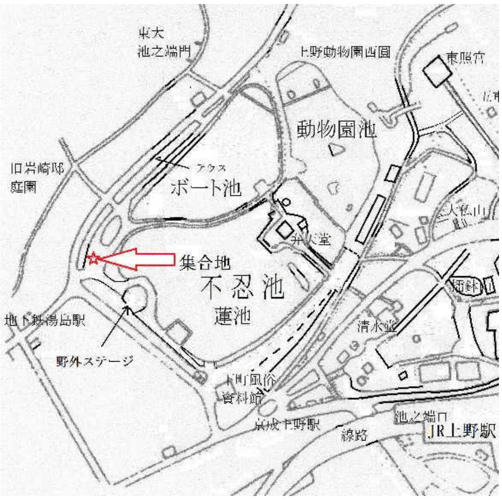
会員の皆様へ:年会費納入の情報:.郵便封筒の宛名下の数字参照。2026は2026年度分納入済

しのばず自然観察会より 2026-6 2026.05.28

2026年6月の活動 不忍池定点観察 6月14日(日)



集 合:午前10時 不忍池 蓮池西南端
野外ステージ西側
（湯島天神下交差点寄り）緑の小旗あり
今回は雨天中止
持 物:筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具
（マスク、敷物、昼食、日傘）
解 散:午後1時頃、ボート池テラスの予定
参加費不要 非会員の参加歓迎
徒歩20分程の園路を1時間半かけて歩きます。

7月の定点観察会は12日（日）の予定です。

2026年5月10日 不忍池定点観察より アオサギ営巣中！

4月に続き快晴となり、公園を行き交う人々にも半袖が目立ちました。この日も不忍池園路は骨董市のテントだけで、すっきりして、安心して歩けました。

この日の圧巻はアオサギ。蓮池を中心に同時に6羽が視界に入り、内1羽は写真のように枯枝を組んで営巣中でした。不忍池でアオサギの営巣を見るのは初めてです。

サクラの大木に巣を掛けたアオサギ

蓮池の3～6月は、季節の移りとともに景観ががらっと変わる劇的な時期です。ハスの浮き葉に続いて抽水葉も出始めて、池面は新緑そのものでした。

前世紀であればカイツブリが営巣・子育てを始める時期

ですが、この日はかなり大きくなった幼鳥が見られ、冬の間に孵化したのかしらと思わされます。

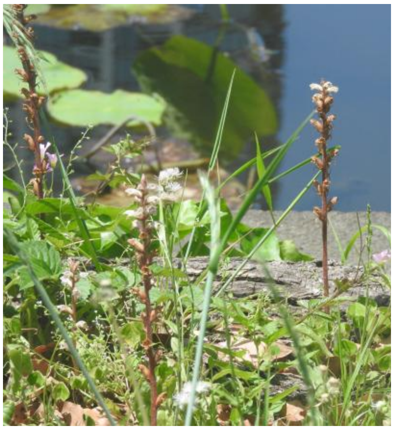
カイツブリの幼鳥

確認できた野鳥：カルガモ、カイツブリ、ユリカモメ、ウミネコ、カワウ、コサギ、アオサギ、ダイサギ、ハシブトガラス、オナガ、スズメ、ドバト、ムクドリ、ヒヨドリ、シジュウカラ、オオヨシキリ、ツバメ　　解散後の目撃を含む

その他の動物：スッポン、クサガメ、ウシガエル、コイ、カダヤシ？カムルチー（ライギョ）、クロイトトンボ、シオカラトンボ、コシアキトンボ、ギンヤンマ、オニヤンマ？アゲハ、アオスジアゲハ、モンシロチョウ

イタチハギ

花・実がある植物：カタバミ、ムラサキカタバミ、マメグンバイナズナ、カラスノエンドウ、オオイヌノフグリ、ココメイヌノフグリ、ナガミヒナゲシ、ヘビイチゴ、カジイチゴ、ハルジョオン、ヒルガオ、雑種タンポポ、ノゲシ、ウラジロチチコグサ、ダンドボロギク（実）、コマツヨイグサ、ユウゲショウ、チガヤ（実）、クス（クスノキ）、サクラ類（実）、サツキ、ユッカ、キョウチクトウ、キショウブ、カキツバタ、ニワゼキショウ、イタチハギ、シロツメクサ、ヤセウツボ、ドクダミ、ヘラオオバコ、タチアオイ、アキニレ（実）、トベラ、カキ（実）　外来種・植栽植物種が圧倒的


ヤセウツボ

50年史出版記念の集いのご相談

50年史への寄稿者・「上野しのばず学習会」参加者から、出版記念会をぜひ開いてほしい、開きたいという声が昨年来あります。野外活動には参加できなくなったが、同窓会なら参加できそうという会員・元会員に応えられるかもしれません。50年間の会の振り返りや、上野公園の魅力・問題点、会員内外の本会や上野公園への思いの確認などとともに、50年史の存在を社会にアピールする機会でもあろうと思われます。会創立51周年の9月を目標に、検討させてください。

しのばず自然観察会　事務局 〒110-0001 台東区谷中3－1－9 小川潔 方
1975年創立　電話 03－3828－8775　URL:http://sinobazu.extrem.ne.jp
郵便振替 00100－8－84609 しのばず自然観察会　年会費 2,000 円
E-mail.: uenoyanesen25atyahoo.co.jp (at を@に替えて送信してください)

＊＊2025 年以前の会費未納の方もお忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ＊＊

しのばず自然観察会 50 年史発刊の集い/旧コース観察会開催について

ご相談

50年史への寄稿者・「上野しのばず学習会」参加者から、出版記念会をぜひ開いてほしい、開きたいという声が昨年来あります。野外活動には参加できなくなったが、同窓会にはぜひ参加したいという会員・元会員に応えることにもなりそうです。さらに、50年間の会の振り返りや、上野公園の魅力・問題点の発信、会員内外の本会への思いの確認とともに、50年史の存在を社会にアピールする機会でもあろうと思われます。

じつは、50年史は同様の活動をしている個人・団体にお届けしたほか、大手新聞各社の文化・環境・社会関係の部局にも送ったのですが、ミニコミ紙誌で高く評価され紹介されたにもかかわらず、マスコミからの反応は皆無でした。折悪しく、50年史を送った時期が年末年始であったこと、そのあとは高市政権の記事で紙面があふれてしまうという不運もありました。もしかすると、50年史のページ数が多くて、記者さんが読み切れなかったのかも知れません。上野公園の愛好者にも普及させたいとせっかく印刷部数を増やしたのに、情報が伝わらないのは残念なことです。そういう意味での情報発信も狙っています。

また、以前のように上野のお山を含めたコースを共に歩いてみたいという会員もいます。これについては、都立上野恩賜公園以外の場所(ほとんどが神社仏閣ですが)でのマナーなどを世話人が理解したうえでの実施になるでしょう。体調の関係で会代表者の小川潔が全コースを回ることができない可能性があるので、事前学習会が必要でしょう。そんな前提の上で、具体化の検討を進めたいと思います。

50年史の姉妹編である上野公園アーカイブ写真集作成への取り組みを、近く再開します。

4月の不忍池 小川千恵子

2026.04.19(日)晴

9:09。ボート池、目の前にホシハジロ雌4、雄7が、首を曲げて、丸くなって眠って浮いている。オオバン2。キンクロハジロ5。皆が眠っているまん中にカワウが滑り込むように降り、北へ進む。皆は一斉に目覚めて首を上げるが、多くはまた眠り、残りは泳ぎ出す。キンクロハジロ6が南へ泳ぎ出す。北の方からオオバンの大きな鳴き声が